

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 30 週（ 2026/7/20～7/26 ） 感染症発生動向調査速報値（ 2026/7/29 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **15** 人、定点医療機関当たり **0.32** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科28定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

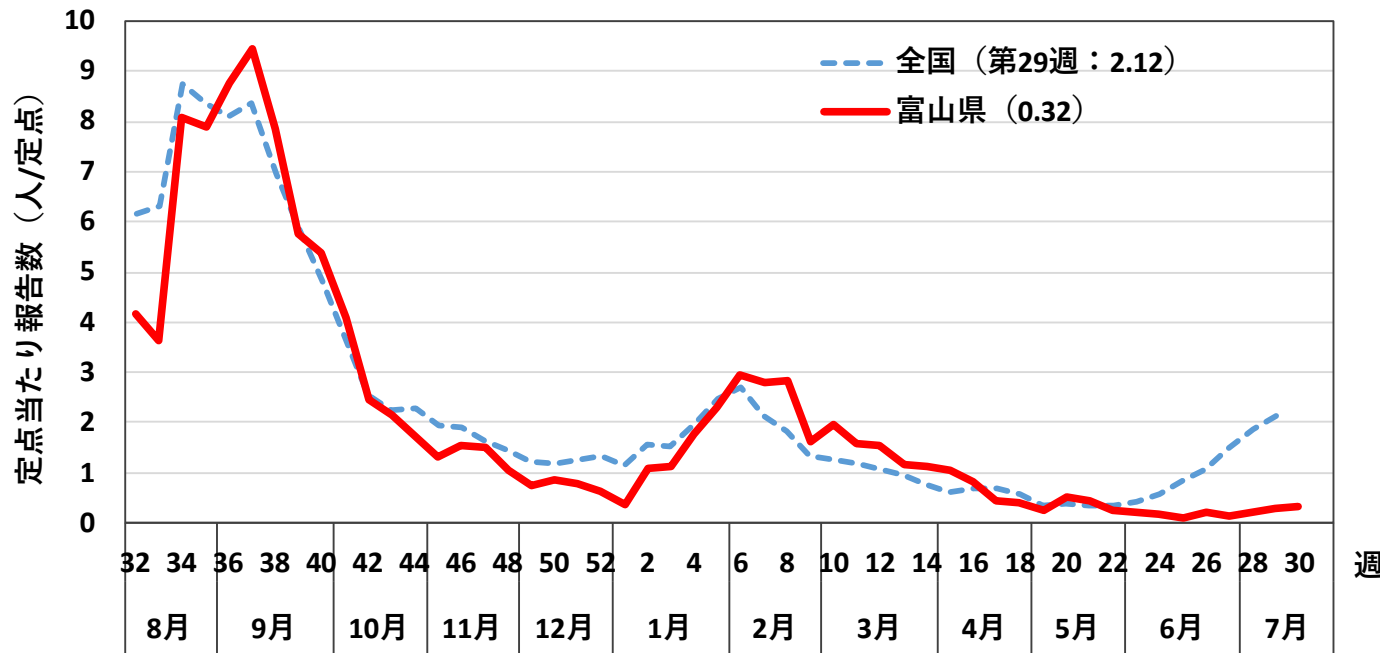
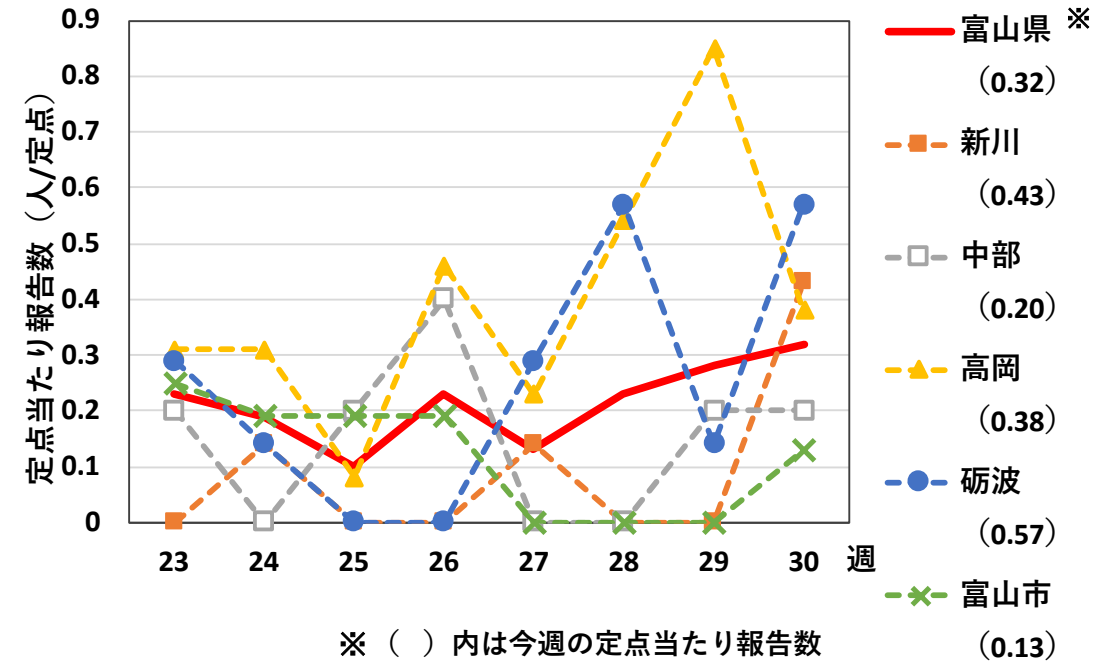


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 富山県の患者報告数は今週0.32人/定点となり、先週（0.28人/定点）からわずかに増加した。全国の患者報告数は、第23週以降増加傾向であり、第29週時点で2.12人/定点であった（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、新川、砺波、富山市管内で先週から増加し、その他の管内では横ばいまたは減少した。（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

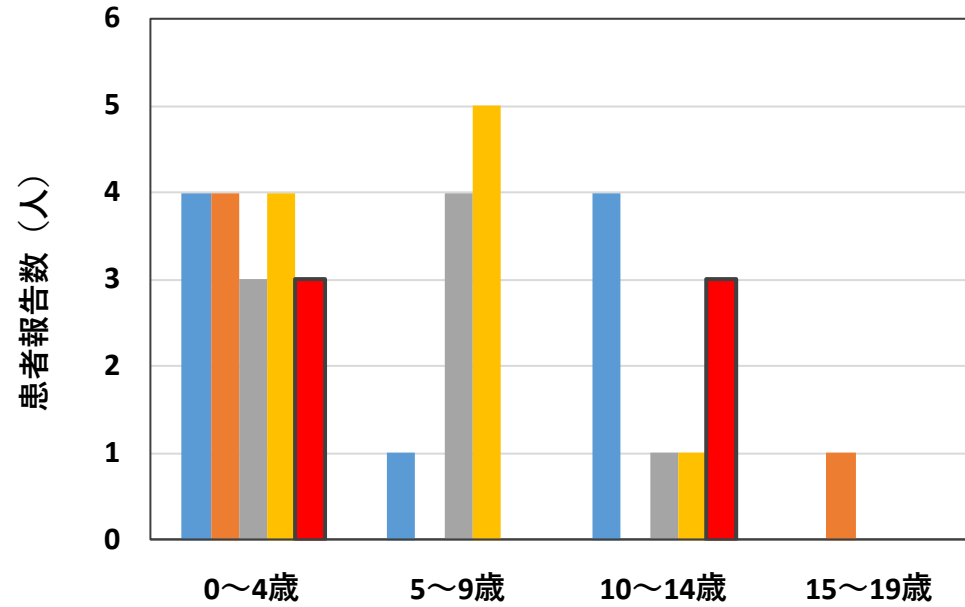
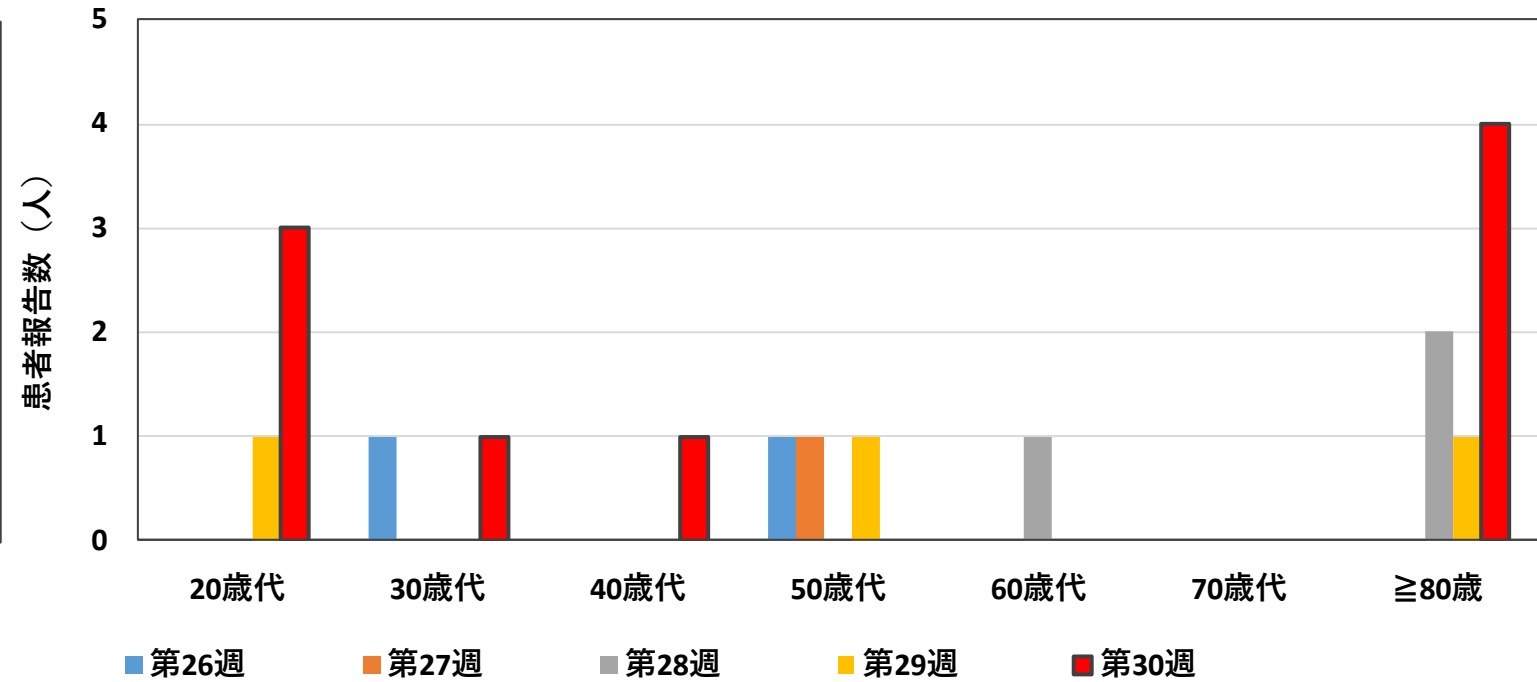


図3-2. ≥20歳



- 10~14歳、20~40歳代、80歳以上で先週から増加した。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

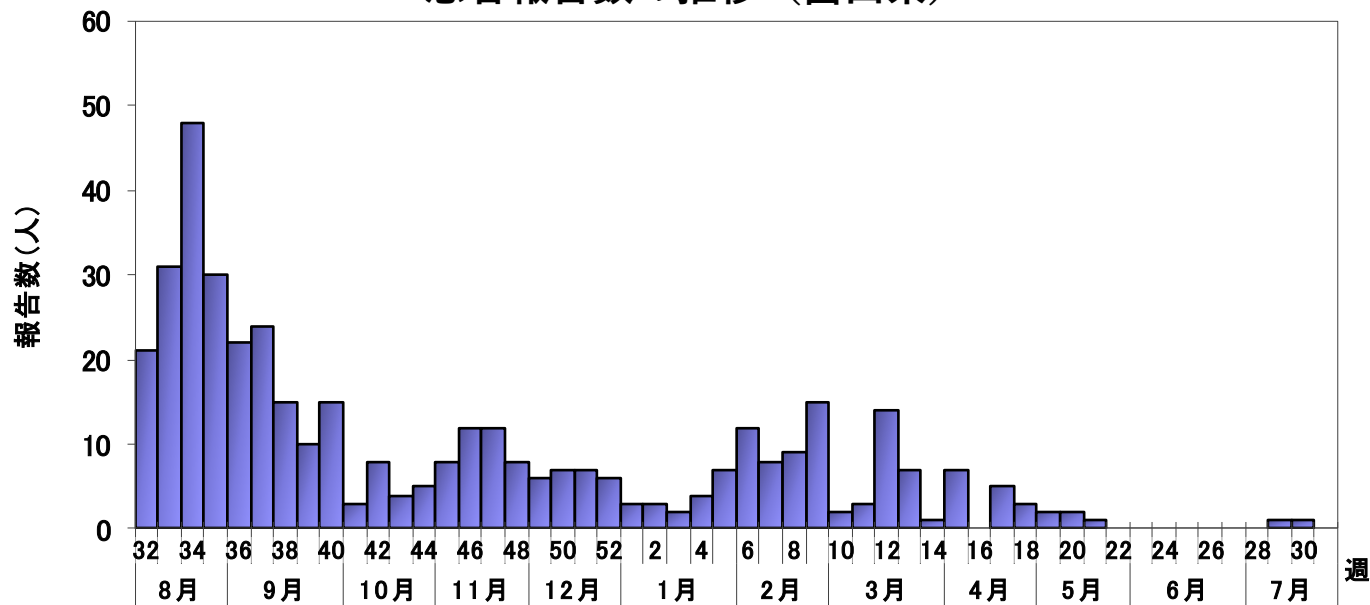
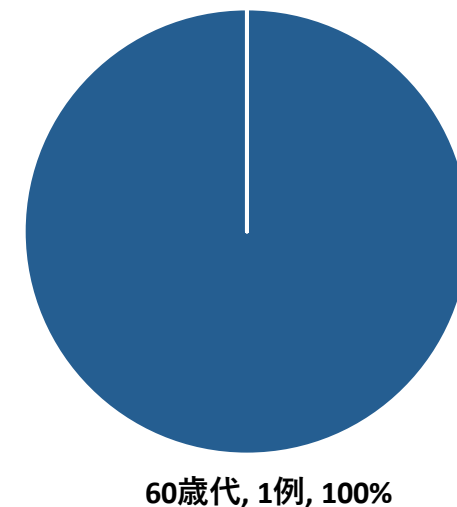


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第30週、1例）



※割合（%）は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第30週に1例の入院報告があり、先週（1例）と同数であった（図4）。
- ・ 入院患者の年代は、60歳代が1例であった（図5）。
- ・ 県内のCOVID-19の患者報告数は、第6～8週をピークに減少傾向となり、その後低い水準で推移している。一方、全国の患者報告数は第23週以降、ゆるやかな増加が続いている。例年、夏季に報告数が増加しており、引き続き今後の患者発生動向を注視したい。